

郷土愛が創業の原点…価値ある印刷物をつくり続けています

# 朝日印刷株式会社



## 勝山の魅力を伝えたい！という想いから誕生しました

当社の創業のきっかけは、初代社長・宇野博が全国の勝山出身者に郷土勝山の情報を伝える「勝山朝日新聞」を創刊したことでした。これを受け「勝山朝日新聞」の印刷部門として誕生した当社は、戦中戦後の一時期を除き、昭和50年代まで「勝山朝日新聞」(後に「福井郷土通信」に改題)を発刊。その数は1000号を超え、現在でも貴重な研究資料となっています。戦後は各種印刷物を手がけるようになり活版印刷からオフセット印刷へと転換しました。地元のお客様とともに品質の高い印刷物を生み出し、勝山の魅力を発信するお手伝いをしています。

## お客様の声から生まれた「においの少ない包装紙」

当社はその印刷技術・製本技術の高さから冊子や広報誌などがメインですが、ユニークな印刷物も誕生しています。その一つがにおいの少ない包装紙「愛(まな)づみ」。従来の包装紙はインキに含まれる油や乾燥剤などの影響で独特のにおいが発生し、食品メーカーにとっては悩みのタネでした。そこで、当社がさまざまな試行錯誤を重ね、インキ臭を抑える印刷技術を開発。インキの機能はそのままに、においを極力抑えた包装紙が誕生し、食品包装に携わるお客様から高い評価をいただいています。

## 紙とデジタルの共存を目指します

朝日印刷は、社員からの新しいアイデアを積極的に取り入れる社風。毎月行われる取締役会や社員が揃う全体会などで、ざっくばらんに意見交換を行っています。少人数の会社なので、面白そうなアイデアは「よし、やってみよう！」とすぐ行動に移せるところも当社の良さの一つ。印刷物のデジタル化が進むなか、デジタルと紙、どちらの良さもしっかり見極めることが求められています。新しいアイデアを実践しつつ、「恐竜カレンダー」や「和絵じ本」といった、紙で残したいと思えるような印刷物も大切にしていきたいと考えています。



## 社員さんの一日に密着

7:45  
出社

軽く掃除

ラジオ体操

今日のスケジュールを

社内で共有

主な仕事内容

### 印刷物の製造

オフセット印刷機やオンデマンド印刷機、仕上製本加工機などさまざまな機械を操作し、品質の高い印刷物を製造します。機械の操作方法や印刷に関する基本的な知識は一からしっかりとお教えします！なんでも聞いてくださいね。

8:30  
印刷作業

お客様の依頼に合わせて  
印刷作業開始です!!



17:00  
退社

定時で帰ることのがほとんど。  
年度末などの繁忙期は少し  
残業することもあります。

午前の  
作業の続き

13:00  
12:00  
ランチ

13:00  
午前の  
作業の続き

12:00  
ランチ

17:00  
退社

17:00  
退社